

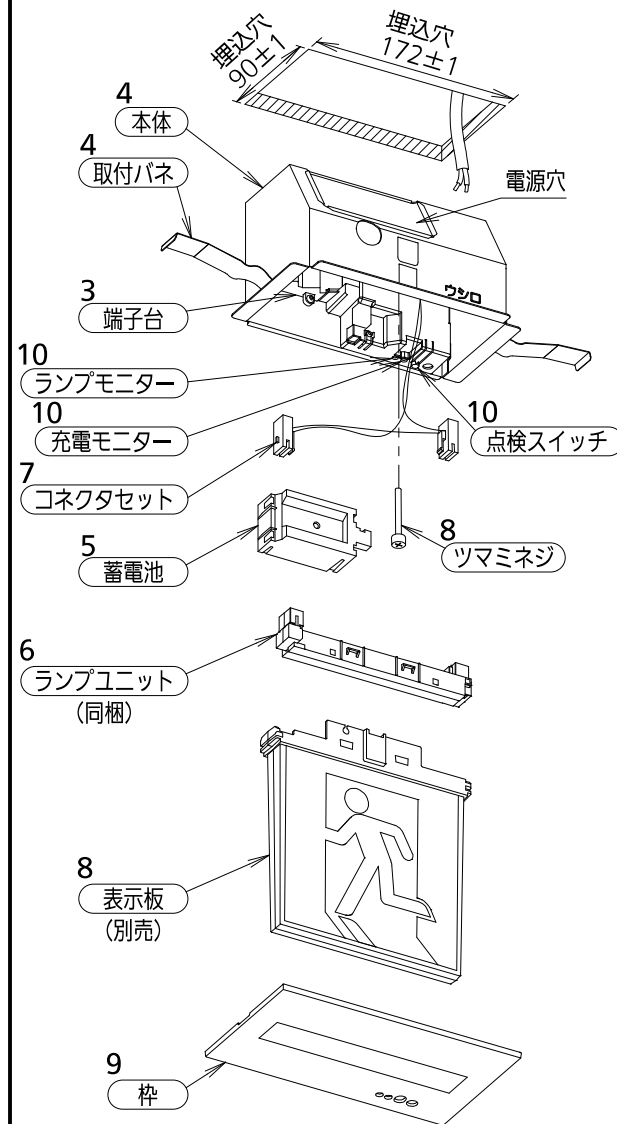
各部のなまえと取り付け方

※取扱説明書中の図は、一部簡略・抽象化しています。

警告

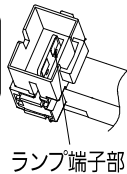
施工は、取扱説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

※図はC級両面型器具
(MZDD5261R-2S)です。



(注) ランプユニット端子部を
直接持ちたり押さったりしないこと

（直接触れた場合、静電気による
LED破壊、及び汚れによる
導通不良のおそれがあります。）



ランプ端子部

■適合表示板

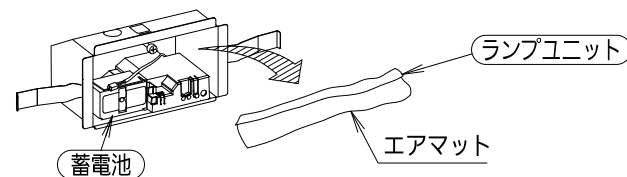
対象器具品番	表示板品番
MZDD5161K-2S	KCK10350・KCK10355 KCK10366・KCK10367 KCK10368
MZDD5261R-2S	KCR10370・KCR10386 KCR10388

1. 取付前の確認

- ・器具質量（1.1kg：両面型器具の場合）に十分耐えるよう、取付面の強度を確認する。
- ・不備があると器具落下の原因となります。

2. 同梱部品の準備

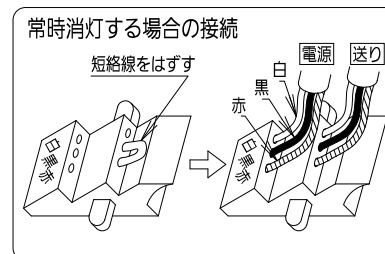
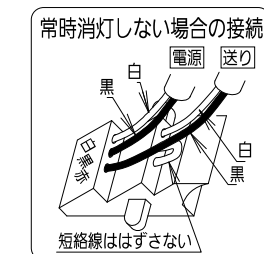
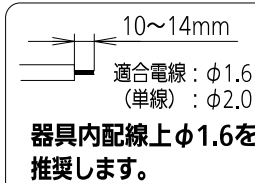
- ・本体内に同梱している蓄電池、ランプユニットを取り出しておく。



3. 電源線の接続

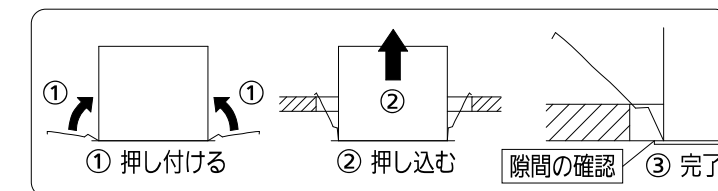
- ① 電源穴から電源線を確実に接続する。
- ② 電源端子台の容量は20Aです。

接続が不完全な場合や
容量オーバーの場合、
感電・火災の原因となります。



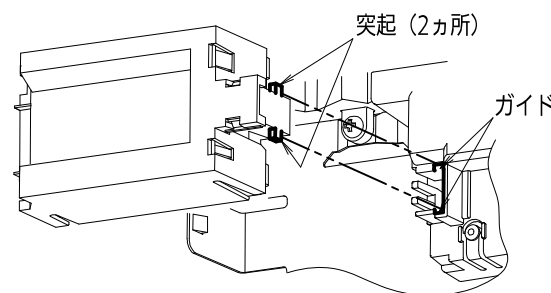
4. 本体の取付

- ① 取付パネ（2ヶ）を本体側面に押し付ける。
- ② 本体を天井内に押し込む。
- ③ 本体を取り付け後、取付面と本体の隙間がないことを確認する。
(注) 本体取付方向は、点検スイッチを手前側にして、表示板の表示面が手前に向くように取り付けてください。



5. 蓄電池の接続

- ・蓄電池の突起をブロックのガイドに差し込み奥まで確実に押し込む。
- ・接続が不完全な場合、非常点灯不点の原因となります。



電源通電までに長時間かかる場合は通電後に電池を取り付けてください。
蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。

お手入れ・部品交換（続き）

蓄電池の交換方法

24時間以上充電しても定格時間非常点灯しない場合は蓄電池を交換してください。

(注) 電池を交換する場合、通電状態で蓄電池を交換してください。

通電状態でない場合、充電モニター（緑色）の点滅が正常（点灯状態）に戻りません。

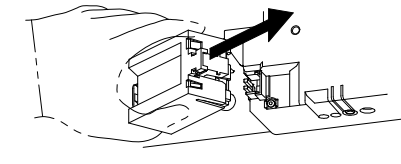
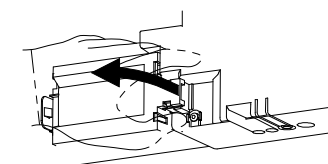
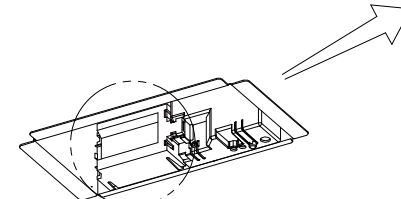
1 枠・表示板を引き下げる

（ランプの交換方法の1、2を
参照ください。）

① 蓄電池先端の固定部をつまみ、
手前側に回転させるように
固定部先端を引き上げる。

② 右手前斜め方向に蓄電池を引き抜く。

2 蓄電池をはずす （充電モニター（緑）消灯）



3 新しい蓄電池を接続する（充電モニター（緑）点灯） 接続が不完全な場合、非常点灯不点の原因となります。

（詳しい取付方法は、各部のなまえと取り付け方
(4. 蓄電池の接続)を参照ください。）

4 表示板の取付 ・表示板を取り付ける

（詳しい取付方法は、各部のなまえと取り付け方
(8. 表示板の取付)を参照ください。）

5 枠の取付 ・枠を取り付ける

（詳しい取付方法は、各部のなまえと取り付け方
(9. 枠の取付)を参照ください。）

保証について

・保証について・・・この商品の保証期間は1年間です。ランプ・電池等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。

器具定格・接続図

消費電力	20分定格
片面	1.1W
両面	1.4W

接続図についてはブロックの銘板、定格の詳細については器具の銘板を参照ください。

(共通仕様)
電源電圧：AC100V
周波数：50/60Hz
その他：通電60000時間後に
ランプモニター点滅

お手入れ・部品交換



注意

蓄電池・ランプ交換時は、器具に取り付けられている蓄電池・ランプと同じパナソニック製の蓄電池・ランプにお取り替えください。 **故障・ランプ破損の原因となります。**

- ・器具の清掃について・・・シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- ・表示板の交換について・・・長期使用により、表示効果が低下（変色・退色）した場合は表示板を交換してください。

交換部品	対象器具	カセット式ランプ（仕様） （パナソニック製ランプをご使用ください）	蓄電池 （パナソニック製蓄電池をご使用ください）
品番	MZDD5161K-2S MZDD5261R-2S	FK92112（天井埋込 C級用）	FK722（1.2V 700mAh） FK723（2.4V 700mAh）

ランプの交換方法

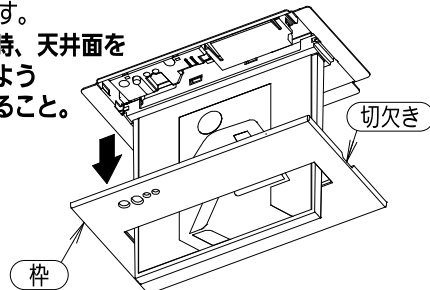
ランプモニターが赤色点滅するとランプの寿命です。（通電60000時間後）

- （注）ランプモニターが点滅しなくても、ランプの明るさ低下または変色等の場合、ランプを交換してください。
- （注）両面型器具の場合は、必ず2灯同時にランプ交換をしてください。
- （注）ランプ交換後はリセットスイッチを2秒以上長押ししてください。ランプ寿命誤診断の原因となります。

1 枠を取りはずす

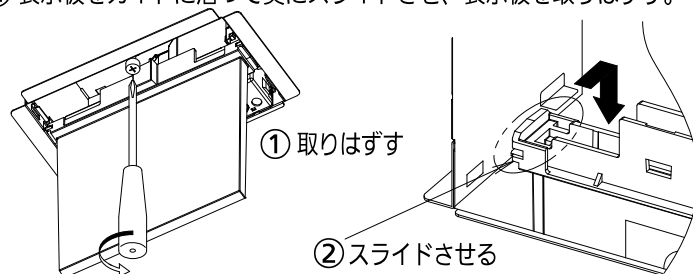
枠側面の切欠きにマイナスドライバを差し込み、枠を取りはずす。

※枠をはずす時、天井面を傷つけないよう十分注意すること。



2 表示板を取りはずす

- ① 本体のツマミネジを取りはずす。
- ② 表示板をガイドに沿って奥にスライドさせ、表示板を取りはずす。

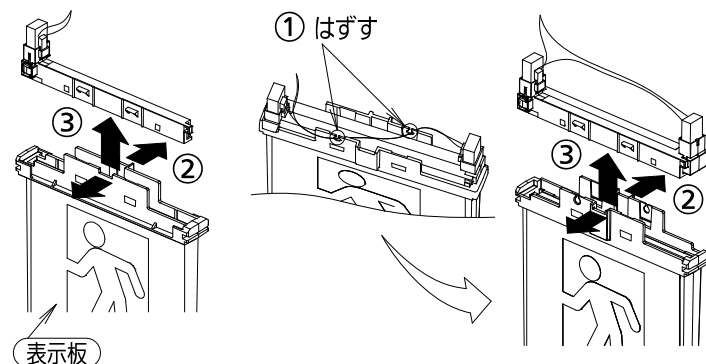


3 表示板からランプユニットを取りはずす

- ① 線止めしている箇所からランプコネクタの線ははずす。（両面型のみ）
- ② 表示板を広げる。広げすぎると、表示板破損の原因となります。
- ③ ランプユニットを取りはずす。
※ランプユニットを取り出すと表示板が落下します。必ず表示板を支えながらランプユニットを取りはずしてください。

<片面型の場合>

<両面型の場合>



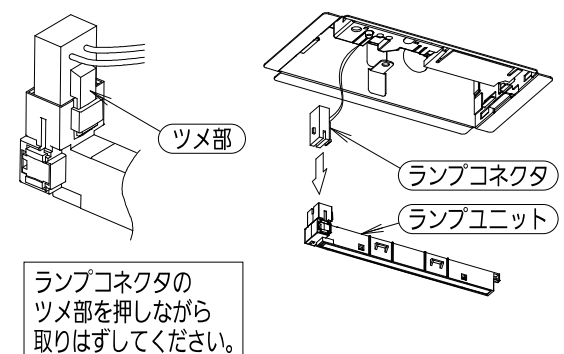
5 ランプユニットを交換する

ランプユニットの取付
コネクタセットの接続
（各部のなまえと取り付け方）の6～7を参照ください。）

7 表示板・枠の取付

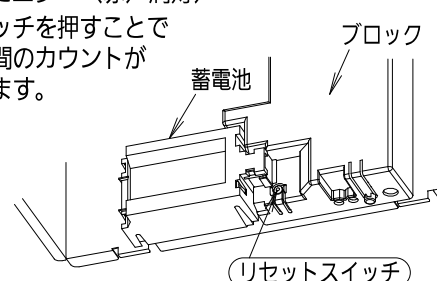
表示板・枠を取り付ける。
（各部のなまえと取り付け方）の8～9を参照ください。）

4 ランプユニットからランプコネクタを取りはずす （ランプモニター（赤）点灯）



6 リセットスイッチを3秒以上押す （ランプモニター（赤）消灯）

リセットスイッチを押すことでランプ点灯時間のカウントがリセットされます。



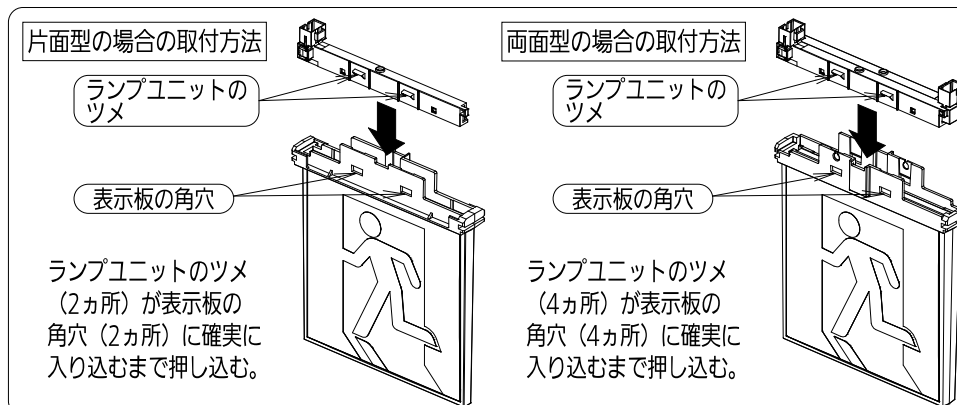
8 点検スイッチを押す （ランプモニター（赤）消灯）

（注）点検スイッチを押さないと点灯しません。

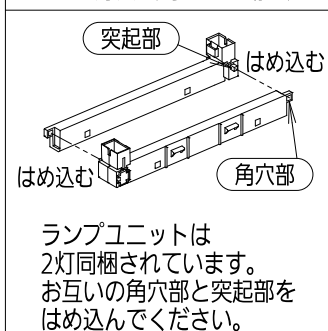
各部のなまえと取り付け方（続き）

6.ランプユニットの取付

- ・表示板上部にランプユニットを差し込む。



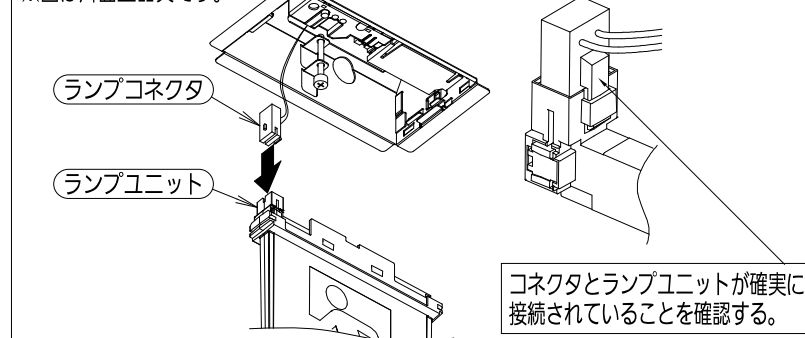
ランプユニット（同梱）のセット方法（両面型の場合）



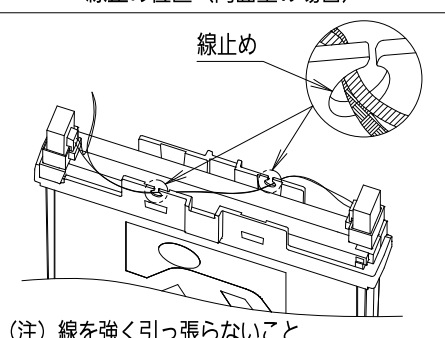
7.コネクタセットの接続と線処理

- ・表示板に取り付けたランプユニットをランプコネクタに確実に接続する。
- ・表示板のケースにある線止めに線を止める。（両面型のみ）
接続や線処理に不備があると不点の原因となります。

※図は片面型器具です。



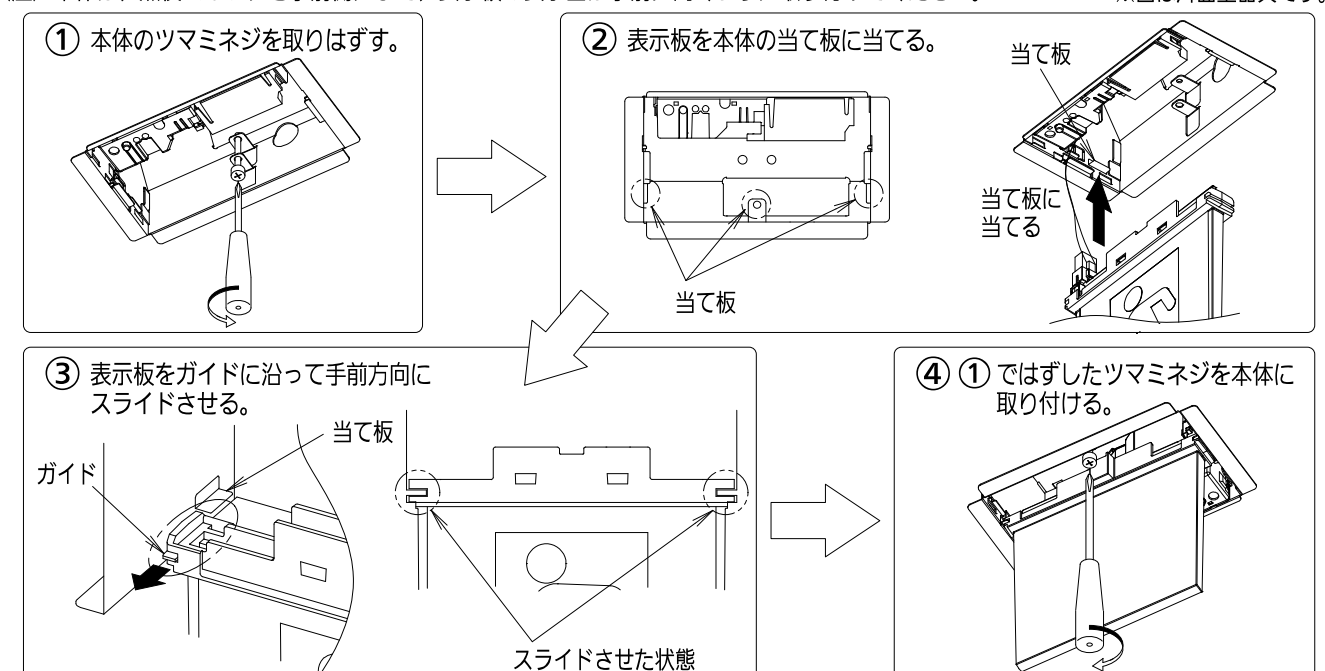
線止め位置（両面型の場合）



8.表示板の取付

- ① 本体のツマミネジを取りはずす。
 - ② 表示板を本体の当て板に当てる。
 - ③ 表示板をガイドに沿って手前方向にスライドさせる。
 - ④ ①でははずしたツマミネジを本体に取り付ける。
- （注）本体は、点検スイッチを手前側にして、表示板の表示面が手前に向くように取り付けてください。

※図は片面型器具です。



各部のなまえと取り付け方（続き）

9. 枠の取付

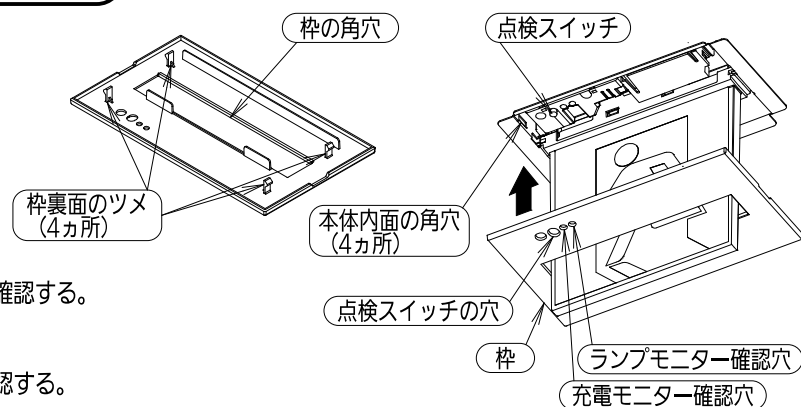
- ① 点検スイッチの位置と枠の穴位置を合わせる。
② 枠の角穴に表示板を通して枠を取り付ける。
（注）枠裏面のツメ（4カ所）が確実に本体内面の角穴（4カ所）に引っ掛かること。

不備があると枠落下の原因となります。

10. 点灯確認

- ① 電源通電状態でランプ及びモニターランプの状態を確認する。
正常状態：充電モニター（緑）点灯
：ランプモニター（赤）消灯
② 電源通電状態で点検スイッチを押し、非常点灯を確認する。
（点検中、充電モニター（緑）は消灯）

正常に動作しない場合は「故障かな?と思ったときは」を参照してください。



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意



警告

- 器具、光源部の分解、改造をしない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、異臭がするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 製品に衝撃を与えない。破損した場合、感電・火災の原因となります。万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- 蓄電池を加熱したり、火や水に投入しない。破裂する危険があります。
- 蓄電池を分解しない。やけど・感電の原因となります。蓄電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
- 落下した蓄電池は使用せず、回収をリサイクル業者に依頼する。但し、落下した際にケースが破損した場合は、電極部と金属部分が接触しないよう電気絶縁用ビニルテープで絶縁し、各自自治体のルールに従い、廃棄物として処理する。不備があるとショートによる破裂・やけど・感電・火災の原因となります。

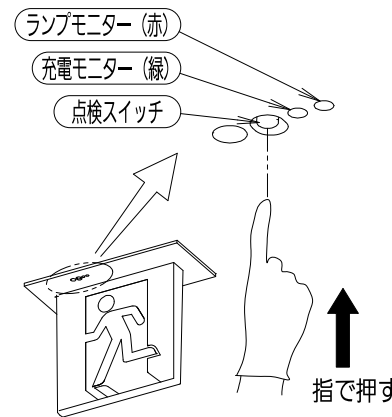


注意

- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- 長時間器具を使用しない場合は、蓄電池ははずしてください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。（※1）法令に基づいて定期的に点検を実施してください。点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

※1 照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。但し、蓄電池は、4～6年です。使用条件は周囲温度30℃です。

器具の点検方法



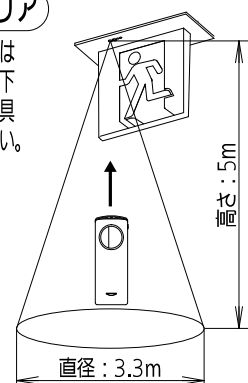
モニターの見方

表示内容	ランプモニター（赤）	充電モニター（緑）
正常時	○ 消灯	● 点灯
寿命時	☼ 点滅 ランプ寿命	☼ 点滅 蓄電池寿命
異常時	● 点灯 ランプはずれ、割れ	○ 消灯 蓄電池はずれ、故障 または非常点灯 ブロック故障

（注）ランプモニターが点滅しなくてもランプの明るさ低下または変色等の場合、ランプを交換してください。

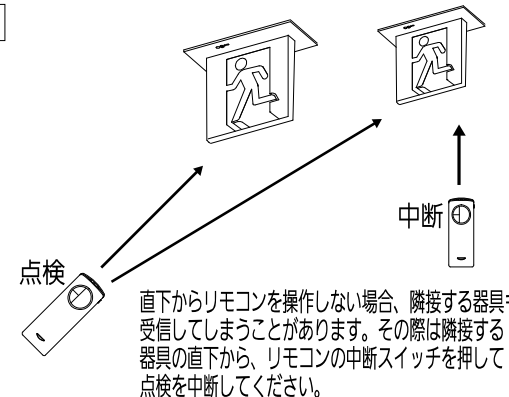
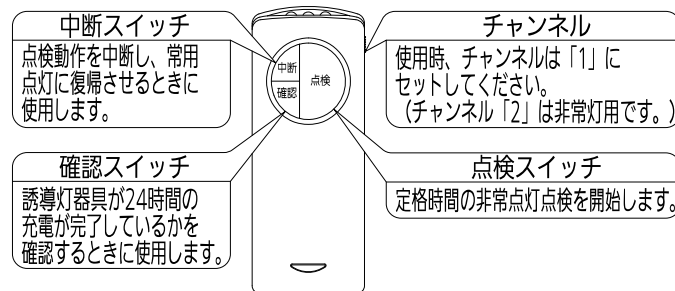
リモコン操作エリア

リモコンを操作するときは点検する誘導灯器具の真下からリモコンを誘導灯器具に向けて送信してください。



自己点検誘導灯用リモコン品番：FSK90910K（別売）（パナソニック製）

スイッチ各部の名称と働き



■点検リモコンの操作による点検

手順	リモコン操作	表示内容	表示時間	ランプモニター（赤）	充電モニター（緑）	常用光源	概要
点灯可否の確認	確認スイッチ	充電中	1秒間	☼ 点滅	○ 消灯	変化なし	充電完了するまでお待ちください。充電時間：24時間
		充電完了		○ 消灯	☼ 点滅	変化なし	自己点検できます。
自己点検を開始	点検スイッチ	充電中	0.5秒	○ 消灯	○ 消灯	点滅	充電完了するまでお待ちください。充電時間：24時間
		自己点検中	1秒間	○ 消灯	○ 消灯	非常点灯	非常点灯します。（少し暗くなる）自己点検が終わるまでお待ちください。
（自己点検中断の場合）	中断スイッチ	点検前の表示に戻る					再度自己点検をするためには24時間充電が必要です。
点検結果を確認	定格時間経過後、自動で表示	結果は上記（モニターの見方）を参照					

■器具本体のスイッチ操作による点検

手順	スイッチ操作	表示内容	表示時間	ランプモニター（赤）	充電モニター（緑）	常用光源	概要
点灯可否の確認	点検スイッチを5秒間長押しする	充電中	(5秒長押し後) 5秒間	☼ 点滅	○ 消灯	※ 非常点灯	充電完了するまでお待ちください。充電時間：24時間
		充電完了		○ 消灯	☼ 点滅	※ 非常点灯	自己点検できます。
自己点検を開始	充電モニター（緑）が点滅中に再度点検スイッチを押す	自己点検中	定格時間一般：20分 長時間：60分	○ 消灯	○ 消灯	非常点灯	非常点灯します。自己点検が終わるまでお待ちください。
（自己点検中断の場合）	自己点検中に点検スイッチを押す	点検前の表示に戻る					再度自己点検をするためには24時間充電が必要です。
点検結果を確認	定格時間経過後、自動で表示	結果は上記（モニターの見方）を参照					

※ 点検スイッチを押している間のみ非常点灯します。